

第33回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2018年12月

タイトルをクリックして
本文へジャンプ

Adobe社が提供する
Adobe Acrobat Reader
で閲覧してください。

目次

1. 観光政策における「明日の日本を支える観光ビジョン」の意義について
— 宿泊関連政策に焦点をあてて —
出口 高靖 (新潟経営大学観光経営学部) 1
2. 域内調達率向上に向けた調査に関する試論
西川 亮 (立教大学観光学部) / 梅川 智也 ((公財)日本交通公社) 5
3. 水俣市における教育旅行
— 水俣病への説明変化に着目して —
宮崎 友里 (神戸大学大学院国際協力研究科) 9
4. 簡易宿所(ゲストハウス)による伝統産業地区再生の可能性
— 京都西陣・友禅地区のインナーシテイ問題 —
近藤 政幸 (新潟経営大学観光経営学部) 13
5. ツーリズムクラスター概念の提示とクラスター間の結節機能の必要性
— 勝沼のワインツーリズムを事例とした — 考察 —
高橋 一夫 (近畿大学経営学部) 17
6. 観光産業における受動喫煙対策の現状と課題
山川 雅行 (大阪観光大学観光学部) 21
7. バリアフリー観光推進におけるバリアフリーツアーセンターの予備的研究
伊藤 薫 (岐阜聖徳学園大学経済情報学部) 25
8. 観光振興組織が担うプレイス・メイキング
— オランダ・ユトレヒトおよびベルギー・ブリュッセルを事例として —
野瀬 元子 (大東文化大学文学部) / 古屋 秀樹 (東洋大学国際観光学部)
崔 瑛 (静岡英和学院大学人間社会学部) 29
9. 「観光年テーマ」から見る中国の観光政策の変遷
郭 倩 ((学)北海学園) 33
10. 日本におけるフィルムコミッションの展開に関する考察
— 韓国釜山市フィルムコミッションとの比較を通じて —
藤谷 律代 (大阪府立大学大学院経済学研究科) 37
11. 価格訴求型旅行促進による災害時の観光復興政策の比較研究
室岡 祐司 (九州産業大学地域共創学部) 41

12. 北海道の広域観光周遊ルート形成過程における諸課題に関する考察 —広域観光における観光と交通などの連携の重要性— 渋武 容 (東京大学総括プロジェクト機構)	45
13. わが国 MICE ビジネスの基本概念についての考察 —一定性的な概念把握と新しい呼称の提案— 田部井 正次郎 (日本観光研究会会員)	49
14. 祇園祭山鉾巡行の後祭復興に関する考察 —山鉾巡行の観光と文化的価値に着目して— 伊藤 節子 (京都大学大学院人間・環境学研究科)	53
15. AI を活用しオンラインの問い合わせを自動対応化する 富吉 光則 (東京経営短期大学)	57
16. 観光地「日本」の魅力と競合関係にある国についての一考察 —訪日観光客からのアンケート調査の結果より— 山下 裕明 ((学)大和学園 キャリエールホテル旅行専門学校)	61
17. 観光地のキャッシュレス決済に関する研究—Phase 1 朝倉 はるみ (淑徳大学経営学部)	65
18. 日本版 DMO に関する考察 —プレイス・ブランディングの視点から— 徳山 美津恵 (関西大学総合情報学部) / 長尾 雅信 (新潟大学人文社会・教育科学系)	69
19. 航空座席予約におけるマーケティング・チャネルの推移について —航空事業環境の変化を背景にした考察— 伊藤 洋三 (立教大学大学院観光学研究科)	73
20. メガイベントの学生通訳ボランティア募集と動機付け 李 根熙 (立命館アジア太平洋大学国際経営学部)	77
21. ホテル・旅館経営者及び宿泊者の意識の特徴 —鳥取県倉吉市を対象として— 保永 展利 (島根大学学術研究院) 牧田 佳子 (元島根大学生物資源科学部 / (株)玉造温泉まちデコ)	81
22. 「'OLI 'OLI システム」の価値共創のメカニズム 阿曾 真紀子 (首都大学東京都市環境学部) / 辻野 啓一 (NPO 法人日本エコツーリズム協会)	85
23. DMO の価値創造と地域住民 —群馬県の日本版 DMO を中心にした考察— 大野 富彦 (群馬大学社会情報学部)	89
24. 城崎温泉のまちづくりにおける観光マネジメント —外湯とアートによる地域活性化— 辻本 千春 (流通科学大学人間社会学部)	93
25. ガストロノミーツーリズムの商品開発に見る DMO の役割 —フードツアーとフードトレイル— 尾家 建生 (大阪府立大学研究推進機構観光産業戦略研究所)	97

26.	観光地ライフサイクル (TALC) に基づく包括的エリア・マネジメント 西井 和夫 (流通科学大学経済学部)	101
27.	中国麗江市における観光関連産業の構造分析 —立地比率分析とシフト・シェア分析による考察— 蒋 蕾 (北海商科大学大学院商学研究科)	105
28.	インバウンドが今後の我が国の地方経済にもたらす効果に関する考察 桃井 謙祐 (信州大学)	109
29.	地域特有素材のウェルネス観光資源化に関する調査研究 —沖縄県の伝統薬草ヒハツモドキを対象に— 玉城 円美 (琉球大学大学院観光科学研究科) / 荒川 雅志 (琉球大学大学院観光科学研究科)	113
30.	観光まちづくりにおけるイノベーションの源泉 —由布院におけるアートをめぐる—考察— 米田 誠司 (愛媛大学法文学部) / 大澤 健 (和歌山大学経済学部)	117
31.	我が国における消費税免税店の現状と課題 —外国人観光客増加と空港別状況を中心として— 河本 光弘 (札幌国際大学観光学部)	121
32.	旅行形態別に見る旅行者の観光動向に関する研究 —千葉県南房総地域を事例に— 岩本 英和 (城西国際大学観光学部) / 内山 達也 (城西国際大学観光学部) 于 航 (城西国際大学観光学部) / 山本 剛 (城西国際大学観光学部)	125
33.	訪日外国人観光客に対する住民の態度に関する一試論 —海外旅行経験による寛容性の涵養— 西村 幸子 (同志社大学商学部)	129
34.	コンテンツツーリズムの中のファンツーリズム —静岡県沼津市を訪問する「ラブライブ! サンシャイン!!」の ファンを事例として— 毛利 康秀 (静岡英和学院大学)	133
35.	観光者の購買行動を促すサービススケープに関する研究 —沖縄県那覇市国際通り周辺商店街における 衝動的土産物購買行動の場合— 上原 明 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) 直井 岳人 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) 飯島 祥二 (琉球大学大学院観光科学研究科) 伊良皆 啓 (名桜大学国際学部観光産業教育研究学系)	137
36.	旅行キャリアと最適な旅の経験 (1) —個人にとっての「いい旅」からの検討— 林 幸史 (大阪国際大学人間科学部) / 岡本 卓也 (信州大学人文学部)	141
37.	観光的特性を有した商業施設の間人-環境系に関する研究 —沖縄県那覇市国際通り周辺における フロント・バックの環境学的特性の分析— 仲泊 華希 (琉球大学観光産業科学部) / 宮田 有理 (琉球大学観光産業科学部) 上原 明 (首都大学東京大学院都市環境科学研究科) / 飯島 祥二 (琉球大学観光産業科学部)	145

38.	海外旅行を通じた自己成長感の規定因 —観光旅行経験に対する感情評価は自己成長感に影響するのか?— 宮川 えりか (立教大学大学院現代心理学研究科) スコット クリスチャン (Victoria University of Wellington) 小口 孝司 (立教大学現代心理学部)	149
39.	観光資源を利用したリハビリテーション —パーキンソン病の人の場合— 赤松 智子 (佛教大学保健医療技術学部)	153
40.	「特撮ツーリズム」の持続と海外進出 二重作 昌満 (東海大学大学院文学研究科) / 田中 伸彦 (東海大学観光学部)	157
41.	鎌倉時代における「観光」の用例について —新たな発見と知見の整理— 上田 卓爾 (ホリスティックライフ研究所)	161
42.	草創期の避暑地日光中禅寺に見る外国人別荘 手嶋 潤一 (元栃木県庁) / 小島 喜美男 (栃木県文化財保護指導委員)	165
43.	フランスの近代観光イベントに関する一考察 —ルルド巡礼を事例として— 羽生 敦子 (立教大学観光研究所)	169
44.	「蔵のまち」喜多方の誕生と観光化をめぐる諸問題 —「観光のまなざし」を分析枠組みに— 池本 淳一 (松山大学人文学部)	173
45.	文学による景観の定義 舩谷 鋭 (立教大学観光学部)	177
46.	温泉旅館における泊食分離の変遷について 内田 彩 (千葉商科大学サービス創造学部)	181
47.	沖縄県におけるコンテンツツーリズムの現状と課題 —韓流映画・ドラマを事例として— 朴 在徳 (名桜大学国際学群) / 安 昌鉉 (KBS 放送文化研究所) 柳 銀珠 (名桜大学国際学群)	185
48.	観光ガイドブックに見る日本人の韓国旅行とその変化 —1970~1990年代を中心に— 澁谷 鎮明 (中部大学国際関係学部)	189
49.	クルーズ船誘致に向けた自治体の取り組みに関する研究 —北海道を対象とした整備方針の把握と課題の抽出— 寺口 敬秀 (日本大学理工学部) / 桜井 慎一 (日本大学理工学部) 野口 翔 (日本大学大学院理工学研究科)	193
50.	災害後の観光客入込数についての一考察 —東日本大震災からの復興に向けて— 稲葉 雅子 (東北大学大学院経済学研究科 / (株)たびむすび / (株)ゆいネット)	197
51.	生活クラブ生協と遊佐町の産直提携にみる連帯構築 三浦 知子 (長崎国際大学人間社会学部)	201

52.	全麵協のあゆみとそばによる地域振興に関する一考察	205
	古賀 学 (松蔭大学観光メディア文化学部) / 三浦 知子 (長崎国際大学人間社会学部) 中谷 信一 ((一社)全麵協)	
53.	近代建築遺産ツーリズムを用いた戦後モダニズム建築の 保存・活用効果に関する研究	209
	加藤 有紗 (日本大学大学院理工学研究科) / 押田 佳子 (日本大学理工学部) 町田 拓也 (日本大学理工学部)	
54.	長崎市における観光メディアに掲載された博物館の特性と分布	213
	山口 太郎 (駒澤大学応用地理研究所)	
55.	都市部における着地型観光の企画・運営事業者の実態に関する考察 —横浜市内における着地型観光に関する調査の結果から—	217
	秋山 友志 (横浜商科大学商学部)	
56.	観光は地域間・個人間の格差縮小に貢献するか? —エージェント・ベース・モデルによる分析—	221
	堀内 史朗 (阪南大学国際観光学部)	
57.	トランジットツアーを利用した門前町の活性化に関する研究 —成田山新勝寺周辺を対象として—	225
	西山 孝樹 (日本大学理工学部) / 金子 正輝 (日本大学理工学部 / 京浜急行電鉄(株)) 田中 賢 (日本大学理工学部) / 天野 光一 (日本大学理工学部)	
58.	Living museum の概念と真正性 —南インドを事例として—	229
	中鉢 令兒 (北海商科大学)	
59.	淡路島における郷土芸能を活用した観光振興に向けた学校教育の課題 —淡路島と八重山諸島の高校生アンケート調査結果の比較・分析—	233
	投石 文子 (兵庫県立猪名川高等学校) / 森重 昌之 (阪南大学国際観光学部)	
60.	観光ガバナンスの実践に向けた地域外関係者のかかわり方の類型化	237
	森重 昌之 (阪南大学国際観光学部) / 海津 ゆりえ (文教大学国際学部) 内田 純一 (小樽商科大学大学院商学研究科) 敷田 麻実 (北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)	
61.	観光地域づくり人材育成の手法に関する考察 —3年間の企業インターンシッププログラムの検証—	241
	田中 智麻 (名古屋学院大学経済学部)	
62.	沖縄の観光現場における方言活用の実態と課題	245
	有銘 あかり (琉球大学大学院観光科学研究科)	
63.	カナダにおけるフード・トレイルとステークホルダー —フード・ツーリズムにおける戦略と協力体制—	249
	中子 富貴子 (公立小松大学国際文化交流学部)	
64.	知名度の低い地域の歴史遺産の旅行商品化に関する一考察 —モニターツアー「千曲川シルクストーリー」を事例に—	253
	山崎 隆之 (長野大学環境ツーリズム学部)	

65. 観光地を小さくフラットにする 257
 —カジュアル志向のチェンジメーカーを育成する必要性について—
 村上 和夫 (立教大学) / 安江 枝里子 (杏林大学外国語学部)
66. 日本の観光 NPO の全国データ分析からの一考察 261
 中尾 公一 (東北大学大学院経済学研究科) / 西出 優子 (東北大学大学院経済学研究科)
67. 世界遺産観光における観光教育の重要性 265
 —「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を事例に—
 深見 聡 (長崎大学環境科学部) / 沈 智炫 (長崎外国語大学外国語学部)
68. PBL を取り入れたインターンシップの有効性についての考察 269
 —那智勝浦町におけるインターンシップを事例として—
 福井 弘幸 (京都橋大学現代ビジネス学部)
69. 観光地域人材育成プログラムの検討と課題 273
 —いしかわ光創造塾の事例—
 種村 聡子 (北陸先端科学技術大学院大学) / 永石 尚子 (慶応義塾大学 SFC 研究所)
 敷田 麻実 (北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科)
70. グローバル人材育成における海外インターンシップの重要性について 277
 —マレーシアのホテル業における日本人インターンシップ受け入れを事例に—
 高橋 加織 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)
 斎藤 悦子 (お茶の水女子大学大学院基幹研究院)
71. MICE の誘致・開催とホスピタリティの関係性に関する研究 281
 —特にホスピタリティの観点からみた「M」と「I」誘致・開催の課題—
 総田 はるみ (横浜商科大学商学部) / 羽田 耕治 (横浜商科大学商学部)
72. 東日本大震災後の日米大学交流中のボランティア・ツアーの自己評価 285
 —宮城県からヴァージニア州へ 2017-2018 年—
 丸岡 泰 (石巻専修大学経営学部)
73. 中国系観光客の訪日旅行に「仲介者」が果たす役割 289
 王 螢雪 (中部大学大学院国際人間学研究科)
74. 気候変動ツーリズムにおける観光経験 293
 —ツバルの「消えゆく」景観をめぐって—
 小林 誠 (東京経済大学コミュニケーション学部)
75. 「動物へのまなざし」に関する一考察 297
 —海外に進出する「スノーモンキー」たち—
 佐藤 郁 (明治大学国際日本学部)
76. 地域における訪日教育旅行の受入態勢に関する考察 301
 —北海道訪日教育旅行促進協議会の取り組みを事例に—
 宍戸 学 (日本大学国際関係学部)
77. 持続可能な開発目標 (SDGs) を満たす観光地経営への一考察 305
 —パラオ共和国の「住民の観光に対する態度・
 観光キャリングキャパシティ」の研究より—
 宮国 薫子 (琉球大学国際地域創造学部)

78.	台湾鹿港における公共レンタサイクルと観光振興について 林 麗華 (建国科技大学生活科技学院) / 塩川 太郎 (修平科技大学観光與創意学院) 林 竟惟 (建国科技大学應用外語系)	309
79.	歴史的街区の保護と観光地化に伴う空間利用の変化に関する研究 —中国杭州市河坊街と中山中路を中心に— 凌 齊丹 (琉球大学観光科学研究科)	313
80.	イタリアのアルベルゴ・ディフーズの現状と日本への応用に関する考察 山田 耕生 (千葉商科大学サービス創造学部) / 藤井 大介 (大田原 Tourismus)	317
81.	日帰り旅行における現地滞在可能時間の都市比較 —現地滞在可能時間地図— 廣田 正樹 (九州大学大学院統合新領域学府)	321
82.	観光情報における「特別編集版」ガイドブックの役割に関する研究 正木 聡 (常磐大学総合政策学部)	325
83.	ダークツーリズム論における死の他者性 —インドネシアの津波観光と死の解釈— 齋藤 千恵 (金沢星稜大学人文学部)	329
84.	文化財を活用した地域づくりに関するミュージアムの可能性への一考察 —泉南市埋蔵文化財センターにおける事業展開から— 和泉 大樹 (阪南大学国際観光学部)	333
85.	観光地の事業者における災害時の避難誘導意識に関する研究 —鎌倉市大仏通り商店街と由比ガ浜中央商店街を対象として— 久島 琴音 (日本大学理工学部) / 押田 佳子 (日本大学理工学部)	337
86.	大規模災害からの観光復興に関する考察 —ボランティアツーリズムと福島第一原子力発電所を例に— 千葉 千枝子 (淑徳大学経営学部)	341
87.	世界遺産登録に対する住民の態度 —期待不一致理論による分析— 丸山 奈穂 (高崎経済大学地域政策学部)	345
88.	「ガストロノミー」と「グルメ」に関わる一考察 —その差異化の必要性— 玉置 桃子 (関西外国語大学)	349
89.	ダークツーリズムでアプローチする高度科学技術社会の新局面 井出 明 (金沢大学国際基幹教育院)	353

第33回 日本観光研究学会全国大会 学術論文集

2018年12月

領価 3,000円

発行 日本観光研究学会

〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-16-19 コンフォルト池袋106

TEL: 03-6709-2906

FAX: 03-6709-2907

URL: <http://jitr.jp/>